

## 第3学年〇組学級活動（2）指導案

指導者

### 1. 題材名「A中学校の新たな伝統をつくろう」

#### 2. 題材設定の理由

- 本学級の生徒は、男女とも仲がよく元気がいい。学級目標「a once in a lifetime chance! (一期一会)」は同じ学級になった友達だからこの出会いを大事にしようという思いで作られた。4月当初から給食の完食が続いており、全員で協力して何かを成し遂げる力についてきている。

また、配布物が配られると自分のものを整理するのよりも先に、欠席の生徒のものを机に入れてあげるなど友達を大事に思う気持ちを持っており、給食でも食べきれないものは男女かまわず食べてあげる優しい生徒が多い。5月の体育大会でリーダーとして体育大会を成功させ、自分たちの力でA中学校の伝統が一つ達成できたという思いはある。

しかし、帰りの会などを進めるのも教師の一声があると行動できるが、自分たちで考えて行動を起こすことについては課題がある。これから生徒には日常生活においても3年生としてA中学校をまとめしていく存在になってほしいと考えており、この活動を通してリーダー性やそれぞれの立場での役割を見出して欲しいと考えている。

- 本題材では、学校の中にある諸問題に気付かせ、3年生としてその解決方法として誰もが協力出来るルールを作り、学校全体で取り組むことによって生徒の自主性や社会性を育てることをねらいとしている。本題材の実践後には、ルールに対する課題も見えてくるだろう。そのときに、自分たちで全校から意見を集め、ルールを見直し、また全校へそのルールを発信し、実践を行っていく。このような問題解決のサイクルを通して、よりよい学校づくりについて考えることは、社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築いていこうとする姿（社会性）を育てる上で意義がある。

- 本題材の指導においては、まず、事前の活動で完食についてのアンケート調査を行い、実態把握を行う。次に、校長先生から学校目標についての話を聞き、A中学校の学校訓、伝統について考える。さらに、栄養教諭より3年生に期待することについての話を聞き、先生方が自分達の成長を期待していることに気づかせ、3年生としてA中学校の新たな伝統を作り出していく存在になることについて考えさせる。

時中の活動では、完食が続いていること、全校の残菜の現状、昨年度の残菜の傾向、2年生1年生が完食をやりたいと思っているが実現できないことなど3年生として学校の現状を把握させる。その時に、栄養教諭としてデータを使って分かりやすく説明する。

次に、3年生の完食が続くコツを発表してもらい、自分たちが行っている完食にいろいろな工夫があることに気づかせる。そのコツをもとに全校どのクラスでも実現できる給食を完食するルール作りを行う。その時に、ルール作りの条件として①本当にできるルールか。②どの立場の人も考えているか。③学校目標に近づきそうか。を提示する。ルール作りができれば、今後の活動について話し合い、実践への意欲を持たせる。

事後の活動では、1年生に対してルールを紹介し、1週間の実践を行う。受所にて3年生の厚生委員、生徒会長が完食の達成状況を確認し、自分達のルールが守られて完食されているか確認する。そして、完食を達成するクラスが少ない場合は、生徒からアンケート調査を行ってもらい、課題を把握する。このようなルール作りのサイクルを通して、生徒が自ら考えて行動する機会を与えると共に、その活躍を学校全体の動きとして広めていくことによって自分達がA中学校を作り上げていくという実感を持ち、社会性や自主性を育てて行きたい。

#### 3. 目標

- 学校の課題について進んで話し合ったり、自分に何ができるか考えたりして、自主的に実践しようとしている。  
(関心・意欲・態度)
- 学校の課題を見出し、他学年の状況を考え、自分たちの考えたルールが実行可能な内容か考えることができる。  
(思考・判断)
- 学校の課題を自分たちの問題として受け止め、解決に向けてよりよい方法で自主的に実践できる。  
(表現・技能)
- よりよい学校とするために、ルールを実践していくことの意義がわかる。  
(知識・理解)

#### 4. 指導計画

過程	学習活動と内容	指導上の留意点	日時
事前	1 アンケート調査を行う。		6月15日
	2 校長先生より学校目標についての話を聞く。	○ A中学校の学校目標について 知ることによって学校をよりよくしようという気持ちを持たせる。	6月16日(水) 帰りの会
	3 栄養教諭の先生より3年〇組に期待することについての話を聞く。	○ 学校の先生方も成長を期待していることを知らせることによりこの話し合いの意義を確認させる。	
(本時中)	題材名「A中学校の新たな伝統を作ろう」 1 給食を完食するルールをつくる。		6月18日(金) 5校時
事後	1 1年生にルールを実践してもらおう。 厚生専門委員会 「食べ物を大切にするコンクール」	○ 実践の効果がわかるように、 担当クラスを選び、実践への意欲を高める。	6月21日(月) ～25日(金)
	2 1週間後に振り返りを行い、ルールについての見直しをする。		6月28日(月)
	3 ルールを再検討する。		6月28日(月)
	4 全校へ再度ルールを提案する。		

5. 本時

平成 22 年 6 月 日 ( ) 第 校時 第 3 学年〇組教室

(1) ねらい

- 学校の課題を改善しようという意識をもち、自分から進んで解決しようとしている。  
(関心・意欲・態度)
- 給食完食について他学年の状況を考え、自分たちの考えたルールが実行可能な内容か考えることができる。  
(思考・判断)

(2) 活動計画

生徒の活動	教師の指導 ◎社会性を育成する手立て
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>(1) 3年〇組が続けている完食について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ どのような方法で？</li> <li>○ どのような気持ちで？</li> </ul> <p>(2) 学校の現状を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全校の残菜の様子</li> <li>○ 昨年度の残菜の傾向</li> <li>○ 1, 2年生の課題</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 学校がよりよくなる完食のルールについて考えよう。</p> </div>	<p>○ 自分達は完食をしているが、学校をより良くするためにはこの活動を全校に広める必要があること。</p> <p>○ 先生方の期待に応えるためには自分達の方で完食を広げていくことがよいことに気付かせ、ルール作りにつなげる。</p>
<p>2 どのクラスもできる完食について話し合う。</p> <p>(1) 3年〇組の完食のコツを確かめる。</p> <p>(2) コツをルールにする条件について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当にできるルールか。</li> <li>・どの立場の人も考えているか。</li> <li>・学校訓に近づきそうか。</li> </ul> <p>(3) 完食のルールを作る。</p> <p>(4) 決まったことの確認をする。</p> <p>3 今日の学習を振り返る。</p> <p>(1) 自己評価をする。</p> <p>(2) 今後の活動を知る。</p>	<p>○ 3年〇組が完食をするために気を付けていることを発表させる。</p> <p>○ ルールづくりの条件を提示し、気をつけていることを1年生に広めるルールにするにはどんなルールにすればよいか考えさせる。</p> <p>◎ グループでの話し合いでは、全員が発言し、お互いの意見を認め合えるようにする。話し合いがまとまったら、班ごとに意見を板書させる。(協調性)</p> <p>◎ 生徒に決まったことの確認をさせる。(責任感)</p> <p>○ 完食のルールができたことを賞賛し、これからの活動について説明し、これからの活動の意欲を高める。</p>

6. 評価

- 学校の課題を改善しようという意識をもち、自分から進んで解決しようとした。  
(関心・意欲・態度)
- 給食完食について他学年の状況を考え、自分たちの考えたルールが実行可能な内容か考えることができた。  
(思考・判断)